

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：井上 寛子 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 小児科病棟におけるベ ッド選択のためのチャ ートの検討	共	2014年3月	日本看護学会論 文集 小児看護, 44, pp.162-165.	独自に作成した「ベ ッド選択のためのチ ャート」を使用し、問 題点や修正点につい て検討した。チャート は看護師の経験年数 に関わらず、ベッ ド選択に有効である ことが示唆された。 (著者名:桑原直子,高橋沙織,井上寛子) (担当ページ:担当頁特定不可能)
2 (学術論文) ICTを活用した1型糖尿 病をもつ子どもへの継 続支援の効果 《筆頭論文》	共	2018年12月	日本小児看護学 会誌, 27, pp.97-105.	糖尿病管理アプリを 使用して研究協力者 の子どもに血糖値や インスリン量などを 入力してもらい、療 養行動の振り返りを 一緒に実施する約2 か月間の介入研究を 行った。ICTの活用 は生活に即したタイ ムリーな指導や支援 に役立ち、療養行動 の自立に向けて子ど もの「やる気」や「 気付き」を引き出す ことにもつながった。 また、進学・進級の 時期や自己管理への 移行時期の支援、心 理的な問題を抱えて いる子どもへの支援 などに有効であった。 (著者名:井上寛子,薬師神裕子) (担当ページ:担当頁特定不可能)
3 (報告・発表) タブレット型携帯端 末を用いた小児糖尿 病自己管理支援シ ステムの開発とその 効果	共	2016年5月	第59回日本糖尿 病学会学術集会 (京都府)	タブレット型携帯 端末を用いた糖尿病 自己管理支援シス テムを開発し、その 効果を検討した。 システムは子ども に使いやすく楽し くデータと向き合 えるが、セルフケ アや自己効力感の 向上には継続使用 が必要であった。 (薬師神裕子,木原知穂,遠藤洋次,井上 寛子,中村慶子,山本真吾,伊藤卓夫,濱田 淳平,平井洋生,石井榮一) (共同研究につき担当部分抽出不可能)
4 (報告・発表) A 特別支援学校の 看護師の定着と教 員との協働の関 係ー看護師離職 が少ない特別支 援学校の検討ー	共	2018年12月	第38回日本看護 科学学会学術集 会(愛媛県)	看護師離職が少な いA特別支援学校 で勤務する看護師 に、協働に関する インタビューを行 った結果について 分析した。 (長谷川由香,井上寛子,早川りか,高間 さとみ) (共同研究につき担当部分抽出不可能)
5 (報告・発表) 特別支援学校にお ける看護師と子 どもを取り巻く 関係者との情報 共有の実際と課 題	共	2019年6月	第66回日本小 児保健協会学術 集会(東京都)	特別支援学校にお ける看護師と子ど もを取り巻く関係 者との情報共有の 実際と課題につ いて内容分析を行 った。 (井上寛子,長谷川由香) (共同研究につき担当部分抽出不可能)
6 (報告・発表) 特別支援学校で働 く看護師と多職 種との協働のシ ステム	共	2019年6月	第66回日本小 児保健協会学術 集会(東京都)	特別支援学校で働 く看護師と多職 種との協働にお けるシステムにつ いて考察した。 (長谷川由香,井上寛子,鬼頭泰子,黄波 戸航) (共同研究につき担当部分抽出不可能)